

言葉のひきだし 伝わる表現を選ぼう

②「△△△コー」つむじんな気持ち? ······

会話編

まえがき

もくじ
うれしいと
①親切にされたとき 「超うれしい」
②助けてもらひたとき 「マジ助かる」

10 6

おひつたと も

①自分のせいでされたとき
「むかつく」「泣ける」

20 16

②いやなことを言われたとき 「へしゃ」

34 30 26

悲しいと き

①注意されたとき 「キモい」
②わかつしむけなこと 「ぬけぬ」

71

あとがき
決められないとき

①何かを聞かれたとき 「△△△コー」
②気持ちを決められなこと 「弱い」
③共感するとき 「わかる」
④友だちにされられたとき 「ムコ」

48 44 40

楽しげと き

①問題が解けたとき 「意外」
②ほめるとき 「かっこいい」
③乐しげじがかったとき 「うきる」

3

まえがき
3 楽しげと
き

まえがき

『言葉のひきだし 伝わる表現を選ぼう』②「△△△コー」つむじんな気持ち? (会話編) は、会話のとおりに気をつけましょ! ポイントをわかりやすく書いたものです。小学校3年生くらいから6年生くらいまでの人が読んでわかるように工夫しました。

この本では、人と話をすることが苦手でも、自分も相手もたのめられることができれば、会話はより楽しむものになることを紹介しています。また、わたしたちがいつも話している場面でも、実は相手にきちんと伝わっていないことがあります。この本では、みなさんが経験したことのある場面を取り上げ、その場面の話し方の課題と解決のポイントをまとめています。
これからは、「△△△コー」ケーションが大切な時代です。「△△△コー」ケーションに自信を持つことは、自分の未来が開けます。そして自分を大きく成長させてくれます。自分の考え方、意見、ものの見方、感じ方などを自由にあらわすとき、自分を素直に好きになります。そして、自分自身のことをあらためて知つたり、気がついたりするヒドい。あるいはことを「△△△理解」と言います。

順番に読まなくてはいけない。読みたいといふから読んでください。みんなが、誰かと話ををするときに自信を持ち、「自分にも良いくのがたくさんある」と気がついてくれば、とてもうれしいです。

鈴木 教夫

何気なく交わしている日常の会話では、相手の気持ちや伝わり方などは考えずに話すことに疑問などは持たないものです。そのため自分の気分や感情^{かんじょう}をそのまま相手に投げてしまいがちです。しかし、その会話のボールを受け取る相手はどうでしょう。会話の相手は、親しい友人ばかりではありません。年上の人であつたり、普段^{ふだん}から会っている人ではなかつたりすることもあるでしょう。

仮に親しい友人や家族であつても、曖昧^{あいまい}な返答などからは、あなたの気持ちを伝わらないこともあります。そして、そこから誤解^{ごかい}が生じることになるかもしれません。親しい友人などではない場合はなおさらです。

気持ちを伝えるためには、相手に正しく理解^{りかじ}してもらえる表現を考え、身につけていきことがたいせつです。

う れ し い と き



「友だちから
誕生日プレゼント・・・。
「超うれしいんだけど。」



お礼の言葉にはさまざまなもの表現があります。友だちから誕生日や田上の人、また、家族であってもさまざまな言い方があります。それそれに使い分けていくと良いのですが。

友だちから誕生日プレゼント・・・。

「超うれしいんだけど。」

家族からのプレゼントでは・・・。

「超うれしく、ラッキー！」

田上の人からの差入れには・・・。

「超うれしいです。」

こんな言い方をしてしませんか？語尾が変わっているだけのように思

いますが、

じのへりうれしいのか伝わりましたか。